



## WFPメールニュース(拡大版) 2006/10/20

### 活動報告

#### ★WFP国際貢献シンポジウム-アフリカの飢餓を考える大会報告 (名古屋、大阪)

「アフリカの角・飢餓救済キャンペーン」の一環として、9月4日の東京に続き、10月4日に名古屋、10月5日に大阪で、日本発の国際貢献を考えるイベントを開催しました。

##### 名古屋大会

10月4日に名古屋市のウィルあいちにて中日新聞社との共催により「アフリカの飢餓を考える講演会」を開催し、約360名が参加しました。

国連WFP協会丹羽宇一郎会長(伊藤忠商事株式会社取締役会長)による基調講演「アフリカの飢餓と国際貢献活動」では、8月のケニア視察の報告とともに、途上国支援のために1人1人の小さな協力が大きな支援となると参加者に訴えました。

続いて、川口文夫(中部電力株式会社 代表取締役会長)、小出宣昭(中日新聞社常務取締役)、平野眞一(名古屋大学総長)の各氏をパネリストに、「地球市民としての国際貢献活動のあり方」をテーマとしたパネルディスカッションを行い、それぞれの立場から、自身の体験に基づいた実例をもとに意見を交換しました。

川口氏は中部電力のCSRへの取り組みについて紹介し、企業市民としての社会貢献のあり方について述べました。小出氏は自身のアフリカ取材の経験や植民地統治史からの考察により、日本発のアフリカ支援の重要性を訴えました。平野氏は戦後の日本の成長を振り返り、教育のための国際支援の重要性を強調しました。



パネルディスカッション



丹羽会長による基調講演

##### 大阪大会

10月5日に大阪市の大阪国際交流センター(アイハウス)にて朝日新聞社との共催により「アフリカの飢餓問題を考えるシンポジウム」を開催し、約160名が参加しました。

丹羽会長の基調講演に続き、大阪でも同じテーマでパネルディスカッションを行いました。パネリストは、加賀美 由加里(ランバン ジャパン株式会社 取締役会長)、小嶋 淳司(社団法人関西経済同友会 代表幹事/がんこフードサービス株式会社 代表取締役会長)、辰巳 琢郎(俳優)の各氏。

加賀美氏は、外見的な着飾りではなく、チャリティの意識を持つ心の美しいファッションを目指そうと述べました。小嶋氏は、自社の残飯等削減策がコスト削減ばかりでなく食糧資源保護にもつながった経験をもとに、食糧問題を真剣に考えるべきであると問題提起しました。辰巳氏は、日本の食料廃棄量の高さを指摘し、廃棄量を少なくするためにできることについて自身のアイデアを述べました。

パネルディスカッション後、太田房江大阪府知事からのスピーチで大阪でのシンポジウムは幕を閉じました。



太田府知事より閉会の辞

## ■活動報告(続き)

### ★ UNギャラリーにてパネル展「アフリカの明日をつくるWFPのごはん」開催中

東京渋谷の国連大学ビル内UNギャラリーで、子ども向けパネル展「アフリカの明日をつくるWFPのごはん」を、10月30日(月)まで開催中です。

日本の子どもたちにアフリカの人々に対して親近感を持ってもらうこと、そして今アフリカが直面している飢餓の状況から本来の豊かな文化を持った生活を取り戻すために何ができるのかを、子どもたち自身に考えてもらうことがねらいのパネル展です。



写真パネルのほか、現地で実際に配布されている食糧、現場のWFPスタッフが使用しているグッズ、アフリカの子どもたちが描いた絵なども展示されます。食糧援助を疑似体験できるコンピューター・ゲーム「FOOD FORCE」のコーナーもあります。

日時: 10月30日(月)まで (土・日・祝日も開催)  
10:00 - 17:00(最終入場は16:30 最終日は15:00まで)  
場所: 国連大学本部ビル(UNハウス)内 UNギャラリー  
東京都渋谷区神宮前5-53-70

### ★ 第3回WFP生徒作文コンクール 入賞者発表

3回目となる今年は、「子どもの飢え」をなくそう～私のアイデア～をテーマに小中学生の作品を募集しました。6月20日から9月20日までの応募期間に昨年の1,036通を大幅に上回る1,907通(小学生部門462通、中学生1,445通)の応募がありました。「子どもの飢え」をなくすための様々なアイデアが寄せられ、WFP、WFP協会の日頃の活動について改めて考えさせられる作品も数多くありました。10月16日の世界食料デーに国連WFP協会ホームページと、Yahoo!きっず特設セクションで、WFP賞、外務大臣賞など14作の受賞作と20作の佳作が発表されました。

入賞作品については、国連WFP協会ホームページ上と、Yahoo!きっずの特設セクション(<http://kids.yahoo.co.jp/docs/event/sakubun2006/>)に掲載されていますので、是非ご覧下さい。



10月30日に東京渋谷の国連大学で受賞者、関係省庁、ご協賛企業のみなさまを招待して表彰式を行う予定です。

### ★ 2006子ども省エネ大作戦！表彰式

10月4日、横浜市の横浜情報文化センターにて3回目を迎えた「子ども省エネ大作戦！」表彰式が行われました。今年は、横浜市内の小学校の約半数にあたる176校、20,000人を超える児童が参加し、夏の間、使っていない電気製品の電源を切る、エアコンの温度設定を上げる等の省エネ活動に取り組みました。



表彰式当日は、中田横浜市長、横浜商工会議所高梨会頭の他、参加児童を代表して市内4小学校の児童が出席しました。中田横浜市長より、「みなさんは、夏の間、一人当たり杉の木1本以上の植林をしたのと同じくらいの二酸化炭素を減らしました。お家の人たちにも大いに自慢して下さい。」との挨拶の後、横浜市、WFPから子どもたちに感謝状が手渡されました。

子どもたちの取り組みに賛同し、市内75の企業から約160万円の協賛金が寄せられました。アフガニスタンで、小学生のための植林、環境教育プロジェクトに使われる予定です。

## ■活動報告(続き)

★ **グローバル フェスタ JAPAN2006に出展**  
9月30日、10月1日の2日間、東京の日比谷公園でグローバル フェスタが開催されました。国際機関、各国大使館、NGO等国際協力関係団体が出展し、2日間で6万人以上が訪れました。

今年のメインテーマは、「『食』から考える・地球しあわせ計画」で、メインエリアにコンピューターゲーム「Food Force」の体験コーナーとWFPの展示ブースが設けられました。ブースでは、WFP協会ボランティアの協力も得て、ハンガーマップ、学校給食のパネル展示のほか、関連資料、グッズなどの販売を行い、多くの人に立ち寄って頂きました。WFPブースの様子は、10月6日テレビ東京の番組、「関口知宏の地球サポーター」で紹介されました。



## ■お知らせ

★ **国連デー ワークショップ「国際公務員の仕事とキャリアパス～WFP職員の現場から～」**

今年は、国連加盟50周年です。WFPは、国連デーのイベントの一貫として「国際公務員の仕事とキャリアパス～WFP職員の現場から～」というテーマでワークショップを行います。WFP職員の二人が、この仕事をする事となったきっかけや、現場での体験、キャリア形成のヒントなどを学生に向けてお話する予定です。WFPの仕事を通じて国際機関の仕事への理解を深めてもらい、若者が将来国際機関で働くことを目指すきっかけになることを願っております。国際公務員の仕事についての生の話を聞くことができるこの機会に、是非お誘い合わせのうえお越しください。

■ 日時：2006年 10月25日(水) 18:00～19:00 (17:30より受付開始)

■ 会場：国際連合大学 2階ギャラリー

\*最寄り駅：JR渋谷駅から徒歩8分、もしくは地下鉄表参道駅B2出口から徒歩5分

■ スピーカー

工藤 絵理 WFP 国連世界食糧計画 上級援助関係官

中井 恒二郎 WFP 国連世界食糧計画 援助関係官

■ 参加費無料

■ 申し込み

参加を希望される方は、お名前、ご所属、電話番号、メールアドレスを明記の上、10月23日(月)までに申込先 ([interngov@wfp.or.jp](mailto:interngov@wfp.or.jp)) までお送り下さい。会場の収容人数に限りがあるため、先着順になる場合がございますのでお早目にお申し込みください。

お問い合わせは[internpi@wfp.or.jp](mailto:internpi@wfp.or.jp) 担当のWFP日本事務所長田(オサダ)までお気軽にご連絡下さい。

★ **「『アフリカの角』飢餓救済キャンペーン」写真パネルセット貸し出し中**

ただいま国連WFP協会で実施中の「『アフリカの角』飢餓救済キャンペーン」に関連して、企業・団体さま向けに「アフリカの角」写真パネルセットの貸し出しを行っております。オフィスでのミニパネル展開催等、社内CSR活動にご利用いただいております。貸し出しの際には、配布用のキャンペーンパンフレットもご提供いたします。貸し出しお申込みは国連WFP協会ホームページからも可能です。

[http://www.jawfp.org/HoA\\_activity.html](http://www.jawfp.org/HoA_activity.html)

### アフリカの角地域でのWFPの活動2

**難民キャンプでの食糧援助**  
アフリカの角地域ではスーダン、ソマリア等紛争を継続した国もあり、多くの人が難民となって難民に避難しています。WFPでは、難民キャンプでの食糧配布、子どもたちのための学校給食プログラムなどを行っています。

**スーダンでの支援**  
スーダンは20年以上にわたる内戦により、150万人が難民で避難民となり、60万人が国内に逃れて難民になりました。復興への努力が今も続いています。南部ダルフール地方では、およそ200万人が難民・避難民となる等して、深刻な食糧不足に悩まされています。これまでスーダン全土で人道支援活動を行い、2005年には

### アフリカの角 飢餓救済キャンペーンと日本企業

国連WFP協会では、企業を中心とする民間セクターが食糧問題の解決のため、積極的に国際貢献を行う場として、2005年7月、評議会を決定させました。評議会は、国連WFP協会の運営費として企業を助ける一方、連年1回開催される評議会、また必要に応じ開催される臨時評議会において議決権を有します。評議会にかかわる企業の従業員やその家族、あるいは企業活動の現場となる地域社会などすべての関係者が、WFP支援活動に積極的かつ能動的に参加できるような場をつくっていくことを目指しています。

2006年9月からスタートしたアフリカの角飢餓救済キャンペーンでは、財界人でもある国連WFP協会評議会一部委員(伊藤忠商事株式会社取締役会)がケニアの干ばつ被害の現場を視察した他、主に評議員企業向けの「国際貢献シンポジウム～アフリカの飢餓を考える」を開催する等、民間セクターのみならず、アフリカの飢餓問題について理解を深め、その解決のために行動を起こしていくことを目指しています。

企業の社員のみならず、また家族のみならずアフリカの飢餓問題について様々な活動を行い、共に行動を起こすきっかけとしていきたいと考えています。キャンペーンへのみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

**ケニアの干ばつ被害現場を視察する丹羽会長**

2006年8月10日 ガリッサ市の食糧援助現場にて 2006年8月11日 デンバーク難民キャンプにて

2006 © JAWFP

発行：WFP日本事務所 <http://www.wfp.or.jp>

特定非営利活動法人 国連WFP協会 <http://www.jawfp.org>

WFPメールニュース(拡大版) 2006/10/20 3/3